

平成 27 年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

(6月11～12日、滋賀県 琵琶湖グランドホテル)

近畿ブロックの老人クラブリーダーが一堂に会し、共通の課題意識を持ち、今後の方策を研究討議し、高齢者の生活と地域を豊かにする老人クラブ活動の創造に結び付けることを目的として開催



基調報告 全老連齊藤常務理事



アトラクション・サムライ演武



江州音頭



いきいきクラブ体操



全体会



お茶席

第1日目

齊藤秀樹・全老連常務理事による基調報告
昨今の社会情勢や老人クラブとしての運動・行動提案等について報告。

○100万人会員増強運動の実施結果
目標達成県・市老連はなかったが、減少の歯止めになっている。頑張ったところから学び、クラブを減らさず、新しいクラブをつくるのが会員増につながる。

○老人クラブ賠償責任保険
賠償責任保険が、補助金の対象となったので、是非加入してほしい。

研究討議（4分科会）

「他世代や関係団体と連携した地域づくり活動」の推進をテーマとした第3分科会では南あわじ市老連の繁田会長が、昔遊びや体験学習の事例を発表。手作りのゴム鉄砲や炭焼き体験の事例に感嘆の声があがった。

また、「会員加入促進に向けた仲間づくり活動」の推進をテーマとした第4分科会では、県老連の澤田副会長・女性委員長(南あわじ市)が座長を務めた。

第2日目

國松 善次・(一社)健康・福祉総研理事長(元滋賀県知事)による講演

「100歳人生を考える」と題して、「100歳大学」と「100歳マイレージ」制度を提案。人生100歳時代にふさわしいライフスタイルと社会の仕組みづくりの必要性を訴えた。

全体会

各分科会での研究討議内容を座長が発表し、中保昌・近畿ブロック老連会長が講評。「勧誘だけではなく、入りたいと思えるクラブづくりも大事」と会場に呼びかけた。



近畿10府県市老連より288名、
兵庫県老連より21名参加



第3分科会
事例発表者
(南あわじ市老連 繁田会長)



第4分科会座長(県老連 澤田副会長)



講演
(一社)健康・福祉総研 國松理事長